

自分が世界と出会う場所

早来地区 義務教育学校 について

はじめに

令和5（2023）年4月、早来地区にて義務教育学校が開校されます。皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3（2021）年8月号より連載をスタートしました。

今月は、新しい学校での制服に関することを中心に、9月に行われたアンケート結果を含めてご説明します。

今後広報紙で

紹介すること

今年度内は、次のようなテーマで義務教育学校に関する情報をお伝えしていく予定です。

12月号

校名の決定までのスケジュールなどについて

1月号

建設地や校舎の配置などについて

2月号

なぜ義務教育学校としたのか、なぜその場所にしたのかなどの理由について

3月号

この学校を建てるためにかかる費用などについて

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによつては、内容を変更することがありますのでご了承ください。

制服について

新しい学校では、中学生にあたる7年生から従来のものを一新し、新しい制服を着てもらうことになりました。「何年生から着るべきか」、「そもそも着る必要がないのではないか」。色々な意見を踏まえながら、次のねらいをもって着てもらいたいと考えています。

①社会性向上

学年が上がるにつれて「規律」と言われる「基本的な生徒の活動・行動」を意識することが求められていきます。その一つとして、統一した服装があります。

②仲間意識

同じ学校に通う一員として、互いを尊重し理解しあえる感覚を持ちやすくします。

③経済性

丈夫な素材を選ぶことで、長く使うことができます。また、冠婚葬祭などフォーマルな場面でも着ることができま

④安全面

特に実験などの場面では、事故を防ぐための注意事項などが伝えやすく

制服に関するアンケート

を実施しました

9月6日から30日にかけて、早来地区の小学校、中学校に通う児童・生徒とその保護者の皆さんを対象に、インターネットや用紙により行いました。

対象となる児童・生徒数が全部で325名。そのうち、121名の方が回答してくださいました。本当にありがとうございました。

アンケート内容

今回は、制服の『形』について、「どれがいいですか?」という質問をさせていただきました。ですので、あくまでも色や細部のデザインなどはこの後考えていくこととなります。

女性

イートン／ブレザー／

セーラー／その他

男性

詰め襟／ブレザー／その他

※早来中学校は現在、男性は詰め襟、女性はイートンが採用されています。